

三重県初！！

松坂城下町遺跡から木綿が出土！！

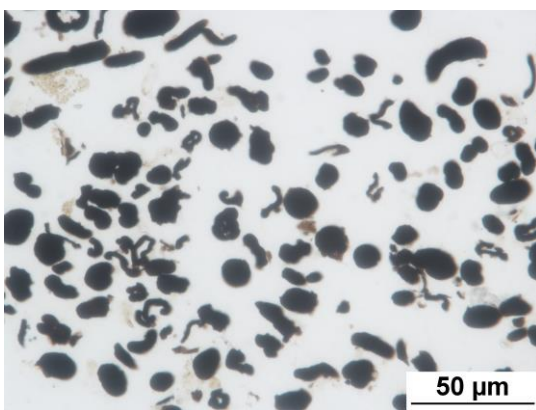
平成30年度に実施した第8次調査で出土した、繊維製品を顕微鏡で観察したところ、木綿であることが判明しました。三重県内の遺跡から木綿が出土したのは初めてです。



端切れの状態出土。大きいものは10cm×20cmのサイズ。出土時は、すでに“ほつれて”おり、手に取ることのできるものだけ採集してきました。



全体に黒く炭化しており、染色されていたかはよくわかりませんでした。2枚の布が糸で縫われていることがわかります。



顕微鏡で観察した緯糸の横断面。繊維細胞が単体で、楕円形の断面をしているのは木綿の特徴です。



国土地理院『松阪』(1:25000より作成)

木綿が出土したのは、松阪市本町(コンビニの向かい)で江戸時代は町人が住んでいる地域でした。

アサリやハマグリなどの貝殻



木綿が出土した土坑の断面。黒く見えているが木綿を含む層で厚さ約 20cm、長さ約 1.2m ある。白く見えているのはアサリやハマグリなどの貝殻。

遺構の年代に関しては、陶磁器がほとんど出土していないため、正確な年代を特定することはできませんが、遺構の層位から江戸時代末～明治時代ごろではないかと考えています。

土坑からは、木綿のほか、アサリやハマグリなどの貝殻が大量に出土しており、ゴミ捨て穴ではないかと考えられます。

また、土壌中で分解されやすい繊維が分解されずに残っていたのは貝と一緒に捨てられていたことで、分解される作用が抑えられたのではないかと考えられます。

いわゆる“松坂鳴”のような綺麗な藍染がされているかは残念ながら分かりませんが、木綿の町である松阪で出土したことは、この地域の歴史を考えるうえで重要な発見であると思います。

問い合わせ先

5 1 5 - 0 3 2 5

三重県多気郡明和町竹川 5 0 3

三重県埋蔵文化財センター 担当：水谷・元座

電話 0 5 9 6 - 5 2 - 7 0 2 8

FAX 0 5 9 6 - 5 2 - 7 0 3 5